



国民の森林・国有林

中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



中部森林技術交流発表会開催

1 日目



受賞者及び局長、審査員の方々

2 日目

主な項目

- 中部森林技術交流発表会開催 P 2
- 各地からのたより P 7
- シリーズ「森林官等からの便り」 P 9
- シリーズ「ご当地自慢」 P 10

「森林・林業の再生」に向けて
民国による情報発信

平成二十六年年度
中部森林技術交流発表会を開催

【技術普及課】一月二十八日～二十九日
にかけ、中部森林管理局大会議室におい
て、「平成二十六年年度中部森林技術交流
発表会」を開催しました。

この発表会は、管内国有林及び民有林
に係わる行政・教育・研究機関、団体等
が、森林・林業に関する試験研究、技術
開発等、日頃からの取り組みの発表を通
じて交流を図り、地域における森林・林
業の推進と普及に資することを目的とし
て毎年開催しています。

今年度は国有林関係から十二課題、民
有林、学校関係等から十七課題、合わせ
て二十九課題が発表されました。

開会にあたり、奥田局長から「公益的
機能の一層の推進、森林・林業の再生、
山村地域の振興などの視点から様々な取
り組みを進め、少しずつではあるが成果
が出てきている。中部森林管理局として



奥田局長の挨拶

も国産材の安定供給、効率的な施業等、
森林・林業の再生に向けてしっかりと取り
組んでいきたい。今回の発表会に参加さ
れる皆さん方は業務や学業の合間を縫っ
て大変なご苦労があったものと拝察し、
敬意を表するとともに、皆さんの発表
が森林・林業の再生へ寄与されることを
祈念する。」との挨拶がありました。



発表会場の様子

発表は、「森林保全」、「森林技術」、
「森林ふれあい」の各部門ごとに行われ、
林業の低コスト化や、地域と協働した取
り組み、独自に着目して掘り下げた課題
や新たに取り組んだ開発課題など、勉学
・業務研究により得られた成果について
発表が行われました。

一日目の発表会終了後には信州大学農
学部植木達人教授から、二日目は名古屋



審査員の方々

大学大学院生命農学研究科原田一宏教授
から、各課題の着眼点や効果、今後進め
てもらいたい方向などについて、先生方
の研究分野で得られた知識や経験などを
織り交ぜて講評をいただきました。

今回は、民有林、学校関係等からも多
くの課題について発表いただき、聴講者
等を含め約三百八十名の参加者により盛
大な発表会となりました。今後とも森林
・林業技術の推進と普及に向け、各署等
での技術開発、地域との連携など、民有
林関係者との共働・協調を深め、情報発
信に積極的に取り組んでいくことにして
います。

受賞課題と受賞者は次のとおりです。

■国有林の部

○局長賞 優秀賞

・木曾駒ヶ岳における植生復元作業に

ついて（一〇年間の取組み）
木曾森林ふれあい推進センター

小林伸雄
東京コンサルタンツ株式会社
藤田淳一



・コンテナ苗植栽技術の

開発・普及に向けた取組
中信署 堀内志保、青島雅俊



・トータルコスト削減への挑戦！
 〈伐・造一貫作業システム in 愛知〉
 愛知森林管理事務所 鈴木健二
 桑原優太



・民国連携による緊急災害時の
 復旧対策（麻野沢災害関連緊急
 治山工事の事例）
 北信署 小田切英市、谷口直幸



○局長賞 努力賞

・北アルプス南部地域における
 中信森林管理署のニホンジカ対策
 について

中信署 小山 勉、渡澤 徹
 ・ニホンジカ対策における
 薬剤防除の比較試験
 森林技術・支援センター 千村知博
 ・七宗国有林におけるニホンジカ対策
 岐阜署 加藤里実、河原誠二
 ・飛騨地域における
 民国の連携の取り組み
 飛騨署 稲垣正紀

岐阜県飛騨農林事務所 中谷和司
 ・複層林の上木伐採における下木への
 影響調査について
 舞台時国有林の
 ヘリコプター集材における事例―
 森林技術・支援センター 三村晴彦
 ・木曽地域における
 先進的林業機械導入への取組
 木曽署 依田直紀

中川地区民有林直轄治山事業の概成
 伊那谷総合治山事業所 立邊真悟
 村田則幸
 ・遊々の森の活動を振り返って
 「多摩市民の森・フレンドツリー」
 南信署 下城大作
 多摩市立八ヶ岳少年自然の家
 五味直喜

□民有林の部（森林・林業振興賞）

・欧州型林業モデル林構築
 たかやま林業・建設業協同組合
 長瀬雅彦



・ヒノキ・コンテナ苗の植栽功程に
 及ぼす傾斜の影響および初期成長
 岐阜県森林研究所
 渡邊仁志、茂木靖和
 三村晴彦、千村知博



・よりよいパートナーを目指して
 名古屋林業土木協会

柳 七郎、五十君正人



・岐阜・愛知・富山県の
 スギ高齢人工林の林分構造
 岐阜県立森林文化アカデミー
 森林技術・支援センター
 横井秀一
 三村晴彦





・カラマツ製治山施設の劣化調査の結果
長野県林業総合センター
山内仁人、今井 信



・主索ウインチ付きスイングヤーダと
繊維ロープ導入による索張り距離の
延長と集材作業の安全化・効率化
新城森林組合 白井 漸



□学生の部(奨励賞)
・金華山国有林における半寄生植物
ツクバネの分布と地形要因
岐阜大学 荒井亮一、加藤正吾



・「信州 山の日」の取組について
長野県林務部森林政策課 井出政次



・中規模森林所有者が行う
立木の在庫管理
岐阜県立森林文化アカデミー
竹川大登



・林業の労働災害は何故起こるのか？
事業体の災害分析からの提言
岐阜県立森林文化アカデミー
筈木遼一



・漸伐作業終伐時の更新木の損傷
信州大学 大塚 大、齋藤仁志、
植木達人



・老齢木曾ヒノキ天然生林における
林冠木の成長に及ぼすサイズー
空間構造の影響
信州大学 齋藤 大、城田徹央、
岡野哲郎



・竹間伐材の有効利用
愛知県立田口高校
稲垣純平、安藤裕路



・伐採・造林一貫作業システムに
おける繊維ロープとタワー接地型
スイングヤーダ適用の可能性
名古屋大学 渡辺亮介



・地すべりを知る
―減災に向けた防災教育の提言―
長野県林業大学校 齋藤悠樹



・安定した森林を目指して
「スイスフォレスト」に学ぶ環境
的にも経済的にも持続可能な森林
づくり」
岐阜県立飛騨高山高校
今井 歩、高原 聖



・木育に対するマネジメント的考察
「企業でも可能な木育とは」
長野県林業大学校 森 田佳

下流・上流の交流促進へ

「名古屋事務所」名古屋事務所では、都市部の皆さんに森林・林業への興味を抱いてもらい、下流から上流への人の流れを促進するための取組を進めています。今年度から、地域の自治体等の要請により、二つの講座が行われたので紹介します。

①中生涯学習センター

名古屋市中区の中生涯学習センターでは、「尾張名古屋は木曾でもつ？」尾張藩による木曾木材の管理と利用」と題する六回の歴史講座プログラムが行われ、名古屋事務所では第一回目と第四回目の講座を実施しました。

第一回目は十月二十日、「名古屋・江戸・京を支えた木曾木材」をテーマに、木曾や飛騨の山林で伐採した木材を河川



伐木運材の歴史紹介 (名古屋事務所展示室)



会場満席となった第一回目 (中生涯学習センター)

を利用し桑名港経由で熱田白鳥まで流送していた伐木運材の歴史を職員がパワーポイントを用いて解説・説明しました。最近の歴史ブームも相まって、収容予定五十人に対し八十名が参加。二時間にわたる講座の後には、「なぜ水中に貯木していたの?」「今はどのくらい木曾ヒノキを伐っていますか?」や「筏師を、なかのりさんと呼んだ由来は?」などの質問が活発に出されました。